

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	教育委員会		
	課 名	スポーツ文化課		
	係 名	体育係		
	記 入 者	河田康雄	電話(内線)	612

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	計画 予算	スポーツライフ推進事業(結城シルクカップ・市民各種スポーツ大会) 市民スポーツ大会開催事業費		(3) 事業の 優先度	B	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市		
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード	43103		(総合計画掲載ページ 109 ページ)			会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)					財源区分	市単独		
基本施策	3 誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進					予算科目	款 10	項 6	目 1
施策	スポーツ・レクリエーション活動環境の充実					予算書上の	市民スポーツ大会開催事業費		
施策内容	各種大会の開催					事業名称	(予算書 175 ページに掲載)		
(5) 事業期間						(8) 事務分類		自治事務	
	開始	平成	5	年	月から				
	終了			年	月まで(	根拠法令	)		
							力年)		

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者（だれを・何を）	(3) 事業内容（具体的に何を行うのか、そのために何を行うのか）			
子供から高齢者まで	・結城シルクカップロードレス大会開催 1.8km 親子ペア 1.8km 小学生男女 3 km 中学生男女 5 km 一般男女 10km 一般男女 ・各種スポーツ教室・大会開催 市民スポーツレクリエーション祭 ニュースポーツ体験教室、ふれあい出前講座			
(2) めざす姿（どのような状態にしたいのか・意図）	■ 事業の全体計画（※計画等がある場合、H24年度末時点で記入）			
スポーツを通して参加者相互の交流を行い、心身の健全育成を図り、生涯スポーツの振興・発展につなげることも目的としている。	・ 総事業費 千円 ・ 進捗率 %			
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など（※ 1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし）	生涯スポーツの振興・発展と参加者のさらなる増加を目的とし、今後も積極的なPR活動を行う。			

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映			
● 予算内訳		実績・決算額（千円）		予算額（千円）		計画額・見込額（千円）			
事業内容		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度			
(1) 事務事業費の コスト	事業費	結城シルクカップロードレース大会補助金	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600		
		各種スポーツ教室等開催事業費	103	250	250	250	250		
		合計	3,703	3,850	3,850	3,850	3,850		
	財源	国庫支出金（千円）							
		県支出金（千円）							
地方債（千円）									
その他特定財源（千円）									
一般財源（千円）		3,703	3,850	3,850	3,850	3,850			
	合計（千円）	3,703	3,850	3,850	3,850	3,850			
補助・起債制度名									

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※記入の必要なし)

・参加者を増やしていくために、アンケート調査等を行い、市民の意見を取り入れ、ニーズに合った教室、大会開催を行う。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称			単位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	各種スポーツ教室スポーツ大会開催数	目標値	回		12	12	12	12
		実績(見込)値		10	12			
		目標値						
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	シルクカップ市内参加者数	目標値	人		1,200	1,250	1,300	1,350
		実績(見込)値		1,186	1,200			
		達成率		87.9 %	88.9 %			
	市民スポーツレクリエーション祭参加者数	目標値	人		800	900	1,000	1,100
		実績(見込)値		696	800			
		達成率		63.3 %	72.7 %			

5. 事業評価

(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。	
成人週1スポーツ人口の割合増加のために積極的なスポーツ教室・大会の開催を行った。	

(2) 項目別評価				
評価項目		評価の指標		客観的評価点及び評価理由
1. 目的妥当性		①事業の必要性,緊急度は高いですか？		4 依然, 必要性が高い(または, 優先的に対応しないと相当な影響が出る)
		②行政が実施すべき事業ですか？		4 法的な問題などがあり, 行政がやるべき事業である
		③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？		5 広い範囲に対して便益が提供されており, 偏りは見られない
13	A	補足		
2. 効率性		④事業の手段(やり方)は適切ですか？		4 現在のやり方が一般的であり, 特に問題はない
		⑤コスト効率, 人員効率は高まっていますか？		5 効率は相当高められている(相当なコスト低減が図られている)
9	A	補足		
3. 有効性		⑥活動指標, 成果指標は達成されていますか？(指標達成度)		4 概ね目標水準に達している
		⑦事業の成果の進捗は順調ですか？(進捗度)		4 計画どおり, 順調に進んでいる
		⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)		4 基本施策への効果が高まる, または基本施策の効率化が図れる
12	A	補足		
4. 総合評価		事業全体について評価し,問題点,課題等を指摘してください。		
34 / 40		・スポーツ教室開催においては, さらなる積極的なPRを行い参加者を増やしていく必要がある。		
[5×8項目]		・シルクカップロードレース大会は知名度も上がり, 市の大きなイベントとして定着してきている。生涯スポーツの普及発展を目的として開催してはいるが, 市外からも多くの参加者がいるため, 今後は産業, 観光分野の広報の場としても, 活用していく必要がある。		
5. 対応策・提言等		この事業をどのように改善・改革をしていきますか？		
		平成25年度 [事業実施段階 における改善点]	・PR活動の方法の見直しを行い, 参加者の増加につなげる。	
		平成26～28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]	・参加者を増やしていくために, アンケート調査等を行い, 市民の意見を取り入れ, ニーズに合った教室, 大会開催を行う。	

6. 事業の方向性判断

評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	拡充 (人・モノ・カネ等の拡充)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため，この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減，成果維持・コスト維持又はコスト削減)	各種大会は，その趣旨に添って開催している。反省会等での検討を踏まえて翌年度に反映するなど，柔軟に対応している。また，スポーツレクリエーションを楽しみ，健康づくりに努め市民週1スポーツを推進していく。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		事業の方向性については，課内で再検討し意思統一を図られたい。